

第 49 回コンピュータ会計能力検定試験 問題用紙

2 級

(令和 6 年 12 月 14 日施行)

問題用紙は回収します。持ち帰り厳禁です。

CD-ROMは持ち帰りできます。

解答用紙は、問題用紙にはさみ込んでありますので、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。

注 意

- ・試験開始の合図があるまで、問題用紙は開かないでください。
- ・この試験問題は、全部で 15 ページです。
- ・この試験の制限時間は 1 時間 30 分です。
- ・解答は、問題の指示にしたがい、すべて解答用紙の指定の位置に記入してください。
- ・解答用紙の所定の位置に、試験会場、氏名、受験番号を必ず記入してください。
記入もれがある場合には採点の対象とならない場合があります。
- ・印刷の汚れや乱丁、パソコン機器の不具合等で必要のある場合は手をあげて試験担当者に合図をしてください。
- ・試験開始後、第 2 問は、CD-ROM に保存されている「東京電子販売株式会社」の会計データを、第 3 問は、同じく「青雲物産株式会社」の会計データを、パソコンにリストアしてから処理をおこなってください。
- ・会計ソフト以外のソフトウェア（表計算等）や電卓などの使用も認めます。
- ・消費税については、入力済みの取引データや、問題文の税額または税率にしたがうこと。

主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

コンピュータ会計の知識

第1問 次の各文章において【 】に入るべき数字・字句、または【 】内の字句のうち正しいものを、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。(10点)

- (1) 小売業C社の会計期間は4月1日～3月31日である。C社は20X0年9月1日から新しい市販会計ソフトを導入することにした(月次決算をおこなう)。20X0年8月31日時点の残高試算表が作成されている。また、20X0年3月31日時点の商品在庫額が1,000,000円、20X0年8月31日時点の商品在庫額が900,000円とわかっている。C社は導入処理にあたり、20X0年8月31日時点の残高試算表金額によって、各勘定残高を相手勘定「諸口」として振替伝票から入力することにした。また、20X0年4月1日～同年8月31日の純仕入高は4,000,000円であった。導入処理の振替伝票で「期首商品棚卸高」勘定の借方に入力すべき金額は【 】円である。
- (2) 上記(1)と同じ条件のもとで、導入処理の振替伝票で「期末商品棚卸高」勘定の貸方に入力すべき金額は【 】円である。
- (3) 市販会計ソフトを使用している卸売業A社では、消費税を税抜経理方式で処理し、消費税額(10%)を内税入力(内税自動計算)している。期中において「消費税額が100,000円となる商品を掛で販売した」という取引を売掛帳画面(帳簿入力方式)で正しく入力した。その後、総勘定元帳画面で「売上高」勘定を指定し、「税抜税込」表示切替で「税抜」を選択した場合、この処理結果として貸方に表示される金額は【 】円である。ただし、この市販会計ソフトでは、消費税自動計算で生じた円未満の数値は切り捨てられる。
- (4) 市販会計ソフトで製造原価報告書(明細書)を出力する際に、「期首仕掛品原価+当期総製造費用-期末仕掛品原価」の計算によって表示される原価を【 売上原価・個別原価・当期製品製造原価・期末総合原価 】という。
- (5) 製造業T社は、市販会計ソフトの導入設定段階で、製造原価に関する勘定科目を使用できるように設定を行っている。T社が市販会計ソフトを期中導入する場合、導入処理において「給与手当」勘定は販売費・一般管理費と【 経費・雑費・材料費・福利厚生費・労務費・法定福利費 】とに分けて別々に残高登録する必要がある。

会計処理

第2問 東京電子販売株式会社の会計データを入力し、年次決算をおこなって、解答用紙に示した貸借対照表と損益計算書の各科目の金額を求めなさい。(50点)

東京電子販売株式会社は、2024年3月から会計ソフトによる処理を導入している。期首(2023年4月1日)から導入する前月(2024年2月)までの会計データ、および3月25日より前までの3月分の会計データは、入力処理済みである。

3月25日以降の会計データと決算資料(9ページから11ページ)にもとづいて、必要な会計処理をおこないなさい。なお、決算資料の中のXX円となっている金額は、各自が計算・判断すること。

<付記事項>

- (1) 会計期間は毎年4月1日から翌年3月31日までである。
- (2) 事業内容は、電子機器部品の卸売業である。
- (3) 取引先および取引条件等は次の表のとおりである。

得意先	みなと工業(株)	おおた工業(株)	しながわ工業(株)
売上計上日	検収書受領日	検収書受領日	検収書受領日
回収条件	月末締め・翌月末払い	月末締め・翌々月10日払い	月末締め・翌々月20日払い
回収方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

仕入先	チョダ電子(株)	アダチ電子(株)	コウトウ電子(株)
仕入計上日	納入検収日	納入検収日	納入検収日
支払条件	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い	月末締め・翌々月15日払い
支払方法	銀行振込	銀行振込	銀行振込

- (4) 入力にあたっては、入力済みのデータも参照すること。
- (5) 勘定科目および補助科目の新規設定はおこなわないこと。
- (6) 消費税処理の設定は税抜経理方式・内税入力であるが、「売上高」と「仕入高」は外税入力の設定としている。

この問題は、CD-ROMに保存されている「東京電子販売株式会社」の会計データをパソコンにリストアしてから処理をおこなってください。

〔会計データ〕

3月25日（月）

① 本日の商品売買状況

納 品 書				2024年3月25日		
東京電子販売株式会社			御中	江東区新大橋10 コウトウ電子株式会社		
毎度お引立て頂きまして有難うございます。						
商品コード／商品名	数量	単位	単 価	金 額	備 考	
Y-50	1,600			3,840,000円		
税抜額		3,840,000円	消費税額	384,000円	合 計	4,224,000円

② 普通預金の引き出し

普通預金 2,500,000 円を引き出した。

③ 3月分給与支払い（現金払い）

給 与 等 集 計 表	
役 員 報 酬	1,100,000 円
給 料 手 当	2,000,000 円
合 計 支 給 額	3,100,000 円
社 会 保 険 料	368,400 円
源 泉 所 得 税	208,400 円
住 民 税	XX,XXX 円
控 除 額 合 計	656,600 円
差 引 総 支 給 額	X,XXX,XXX 円

④ 通勤交通費 70,400 円を現金で支払った。

3月26日(火)

① 振込依頼書作成

総合振込依頼書									
江戸銀行 殿					取組指定日		2024年3月29日		
ご依頼人名		フリガナ		口座番号		振込先		金額 円	
		トウキョウデンシハンバイカブシキガイシャ							
		東京電子販売株式会社 様						枚中/枚目 1 / 1	
ご連絡先電話番号		33 - 123 - 4567							
送信番号	銀行	支店	預金種目	口座番号	振込先	金額 円	電信指定	手数料	照査印発行印
	麻布	本町	普通	0123456	杉並産業(株)	66,000		440	
	原宿	本店	普通	0123123	台東興業(株)	110,000		440	
	上野	本店	普通	0345678	新宿不動産(株)	198,000		440	
	赤羽	下町	普通	0321654	キタ運送(株)	347,600		440	
			普通						
					小計	721,600	小計	1,760	
					合計	721,600	合計	1,760	

(注) 杉並産業(株)は駐車場使用料, 台東興業(株)は倉庫家賃, 新宿不動産(株)は事務所家賃, キタ運送(株)は運送費の支払先である。

② 得意先から届いた振込通知書

2024年3月26日	
振込通知書	
東京電子販売株式会社 様	
みなと工業株式会社	
締切日 2024年2月29日	
購入金額合計 ○件 3,630,000円	
(2月1日~2月28日)	
(振込日: 2024年3月29日)	

③ 本日の商品売買状況

売 上 伝 票				納品書 (控)	
				売上日 2024年3月26日 東京都豊島区北大塚9-99-1	
おおた工業株式会社		御中		東京電子販売株式会社 TEL 33-123-4567 FAX 33-123-4577	
商品コード/商品名	数量	単位	単 価	金 額	備 考
U-30	1,000			2,400,000円	
K-40	1,200			3,120,000円	
税抜額		5,520,000円	消費税額		552,000円
				合 計	6,072,000円

④ 借入金の詳細

お借入金ご返済予定表					江戸銀行		
ご 融 資 日	最 終 期 日	ご返済回数	ご 融 資 額	うち増額返済分ご融資額			
年**月**日	***年**月**日	** 回	**円	円			
金 利 変 更 日	変 更 後 の 利 率	変更後の毎月のご返済	変更後の増額返済併用月ご返済額 (うち増額返済額)				
年 月 日	年 %	円	円				
ご返済期日 (年 月 日)	回数 回	ご 返 済 内 訳			ご返済後融資残高 (うち増額分ご融資残高) 円	未払利息発生額 円	未払利息残高 円
		ご返済元金 円	お支払利息 円	未 払 利 息 円			
2024. 2.26	22	160,000	34,864		16,480,000		
2024. 3.26	23	160,000	33,710		16,320,000		
2024. 4.26	24	160,000	32,553		16,160,000		

3月29日（金）

① 小口現金の補充

小口現金補充のため、普通預金 154,440 円を引き出した。

小口現金出納帳集計表	
2024年3月21日～29日	
科 目	税 込 金 額
福 利 厚 生 費	0 円
広 告 宣 伝 費	16,060 円
交 際 費	17,820 円
旅 費 交 通 費	14,410 円
通 信 費	13,640 円
消 耗 品 費	13,420 円
事 務 用 品 費	12,980 円
修 繕 費	14,410 円
車 両 費	42,460 円
租 税 公 課	0 円
雑 費	9,240 円
合 計	154,440 円

2024年3月29日
出納係 印

② 精算

3月中に従業員に対して交通費の概算を手渡していた。本日すべての精算をおこない、不足分 950 円を現金で渡した。なお、精算した金額には、交通費（税込）以外に事務用品費 13,750 円（税込）と収入印紙代 7,000 円が含まれており、領収証を受け取った。

③ 普通預金通帳の記帳結果

普通預金						
	年-月-日	摘要	お支払金額	お預り金額	差引残高	
1	2024. 3. 25	繰越残高			6,326,460	
2	2024. 3. 25	引出	2,500,000		3,826,460	
3	2024. 3. 25	電気	36,520		3,789,940	
4	2024. 3. 25	電話	37,180		3,752,760	
5	2024. 3. 26	水道	17,380		3,735,380	
6	2024. 3. 26	電話	58,740		3,676,640	
7	2024. 3. 26	振替	193,710		3,482,930	
8	2024. 3. 27	水道	14,190		3,468,740	
9	2024. 3. 27	電話	44,220		3,424,520	
10	2024. 3. 28	振替	132,000		3,292,520	
11	2024. 3. 28	振替	110,000		3,182,520	
12	2024. 3. 28	振替	98,000		3,084,520	
13	2024. 3. 28	引出	740,000		2,344,520	
14	2024. 3. 29	引出	154,440		2,190,080	
15	2024. 3. 29	振込		3,630,000	5,820,080	
16	2024. 3. 29	振替	66,000		5,754,080	
17	2024. 3. 29	振替	110,000		5,644,080	
18	2024. 3. 29	振替	198,000		5,446,080	
19	2024. 3. 29	振替	347,600		5,098,480	
20	2024. 3. 29	振込手数料	1,760		5,096,720	

(注) 2024. 3. 26 振替 193,710 円は江戸銀行への返済。

2024. 3. 28 振替 132,000 円は文京リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2024. 3. 28 振替 110,000 円は荒川リースへの支払, 「リース料」勘定を使用する。

2024. 3. 28 振替 98,000 円はスミダ損害保険への支払, 「保険料」勘定を使用する。

3月30日(土), 31日(日)

休業日

〔決算資料〕

(1) 残 高

① 現 金

手許現金残高	XXX,XXX 円
--------	-----------

② 預 金

<u>残 高 証 明 書</u>	
東京電子販売株式会社 様	
2024年3月31日	
預金種類	残高
普通預金	5,096,720 円
定期預金	9,600,000 円
定期積金	9,500,000 円
2024年4月4日	
江戸銀行 豊島支店	

③ 売掛金

得意先への確認済み残高

2024年3月31日

みなと工業株式会社	1,408,000 円
おおた工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
しながわ工業株式会社	XX,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

④ 買掛金

仕入先への確認済み残高

2024年3月31日

チヨダ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
アダチ電子株式会社	17,578,000 円
コウトウ電子株式会社	X,XXX,XXX 円
合 計	XX,XXX,XXX 円

⑤ 預り金

源泉所得税	XXX,XXX 円
住民税	79,800 円
社会保険料	9,000 円

⑥ 長期借入金

5 ページ借入金返済予定表参照

(2) 棚卸処理

商品棚卸表

2024年3月31日

種類	仕入単価	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	実地棚卸金額
T-10	1,200 円	100	100	120,000 円
O-20	1,300 円	200	200	XXX,XXX 円
U-30	1,400 円	300	300	420,000 円
K-40	1,800 円	500	490	XXX,XXX 円
Y-50	2,400 円	200	200	480,000 円
合計				X,XXX,XXX 円

上記の棚卸表のとおり、実地棚卸の結果、K-40 が帳簿棚卸に対して 10 個不足していることが判明した。この不足分については、棚卸減耗として売上原価に含めることとする。

(3) 減価償却

次の固定資産台帳および減価償却明細表のデータにもとづいて、当期の減価償却費を計上する。

固定資産台帳・減価償却明細表

2023年4月1日～2024年3月31日

(金額単位：円)

種類	取得年月日	取得価額	償却方法	耐用年数	償却率	当期償却額
(車両運搬具)						
乗用車	2022年1月	3,000,000	定率法	6	0.333	610,860
乗用車	2023年2月	3,200,000	定率法	6	0.333	1,006,459
計		6,200,000				X,XXX,XXX
(備品)						
エアコン	2021年2月	300,000	定率法	6	0.333	41,977
応接セット	2021年2月	270,000	定率法	8	0.250	36,387
計		570,000				XX,XXX
合計		6,770,000				X,XXX,XXX

(4) その他

① 運送費

運送費は 10 日締めで月末払いとしており、締め日以降（3 月 11 日から 31 日まで）に発生した運送費について、「未払費用」勘定を利用して費用計上する。

3 月 11 日～31 日分の運送料計算書の合計額	107,800 円（税込金額）
---------------------------	-----------------

② 地代家賃

「地代家賃」勘定の補助元帳には、1 か月分の前払い分が含まれているため、それぞれ 13 か月分の家賃が計上されている。前払い分を「前払費用」勘定に振替処理する。

事 務 所	198,000 円（税込金額）
倉 庫	110,000 円（税込金額）
駐 車 場	66,000 円（税込金額）

③ 消費税等の計上

当期の確定消費税の金額は次のとおりである。

当期確定消費税額等	5,730,100 円
-----------	-------------

前年 11 月に支払った消費税の中間納付額との差額を「未払消費税等」勘定に計上する。消費税の中間納付額は、11 月の「仮払消費税等」勘定の借方に計上されている。

なお、「仮受消費税等」勘定と「仮払消費税等」勘定との振り替えにより生じる端数差額は、雑収入とする。この雑収入は、消費税課税対象外として処理する。

④ 法人税等の計上

当期の法人税，法人住民税，法人事業税，地方法人特別税が次の金額に確定した。

	確定法人税額等
法 人 税	486,100 円
法 人 住 民 税	268,200 円
法 人 事 業 税 ・ 特 別 税	138,100 円
合 計	XXX,XXX 円

前年 11 月に支払った法人税，法人住民税，法人事業税等の中間納付額との差額を、「未払法人税等」勘定に計上する。

なお，中間申告による納付額合計は，11 月の「仮払法人税等」勘定の借方に計上されている。

会計情報の活用

第3問 次の各文章において、【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(10)の解答欄に記入しなさい。青雲物産株式会社に関する問題は、会計ソフトに組み込まれた機能を利用してえられた数値にもとづき解答すること。ただし、そのうち会計ソフトの機能から解答を直接えられない問題については、別途計算したり、判断したりして解答すること。なお、金額以外の数字による解答については、求める表示形式上の小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入すること。(20点)

<経営分析>

- (1) 青雲物産株式会社の決算を含む第4期末における売上高経常利益率は1月末残高によるものに比べて好転【ア. している。 イ. していない。】
- (2) 青雲物産株式会社の第4期12月末残高における流動比率は【 】%である。
- (3) 青雲物産株式会社の決算を含む第4期末における総資本営業利益率は【 】%である。
- (4) 青雲物産株式会社の下半期(10月～3月)交際費合計額は、上半期(4月～9月)の合計額に比べて【 】%増加した。

<損益分岐点分析>

- (5) 青雲物産株式会社は、同社の損益計算書に計上される営業費用の固定分解にあたって、売上原価項目と支払手数料については変動費比率100%、荷造運賃については固定費比率50%、旅費交通費については変動費比率20%、消耗品費と水道光熱費については固定費比率90%、その他の営業費用については固定費比率100%としている。また、営業外収益・営業外費用・特別損益を構成する各項目は分析に用いない。決算仕訳を含む第4期全体の変動費率は【 】%である。
- (6) 青雲物産株式会社の第4期上半期(4～9月)累計の損益分岐点売上高は【 】円である。
- (7) 青雲物産株式会社の第4期第3四半期(10月～12月)の中で限界利益率の観点から最も業績が良かった月は【 】月である。
- (8) 青雲物産株式会社は第5期1年間の利益計画(決算仕訳を含む)を策定する際、第5期は固定費を第4期から10%減少、変動費率を5%増加させ、利益(営業利益)を8,000,000円とする予測のもとで、この予測を満たす第5期の売上高を試算する。この試算の条件では、第5期は第4期に比べて【ア. 売上高は増え、損益分岐点比率は大きくなる。 イ. 売上高は増え、損益分岐点比率は小さくなる。】

<予算管理>

- (9) 製造業X社の製造間接費予算額は4,500,000円である。この予算期間において不利な予算差異100,000円が生じた。X社のこの予算期間の製造間接費実際額は【 】円である。
- (10) 製造業Z社の次期の予算額は、期首仕掛品棚卸高予算が3,000,000円、材料費予算が2,800,000円、労務費予算が3,200,000円、経費予算が1,500,000円、製品製造原価予算が7,000,000円である。Z社の次期の期末仕掛品棚卸高予算は【 】円である。

第4問 A社における7月の資料1の実績貸借対照表および実績損益計算書（14 ページ）から、資料2の実績資金繰り表および資料3の資金増減原因表（15 ページ）を作成し、下記の間1と間2に答えなさい。（20 点）

<実績資金繰り表>

問1 7月の資金繰り表について、次の文章中の【 】に入るべき数字、または【 】内の「ア」と「イ」のうち正しいものの記号を、(1)～(5)の解答欄に記入しなさい。

- ・ 経常収入合計は、【 (1) 】円である。
- ・ 人件費支払は、【 (2) 】円である。
- ・ 経常収支過不足は、【 (3) 】円過剰である。
- ・ 財務収支過不足は、【(4) ア. 過剰 イ. 不足】である。
- ・ 収支過不足合計は、【 (5) 】円過剰である。

<資金増減原因>

問2 7月の資金増減原因について、次の文章中の空欄に適切なものを語群から選び、(6)～(10)の解答欄に記号で記入しなさい。

- ・ 資金の増加原因を金額の大きい順に列挙すると、 , , があげられる。
- ・ 資金の減少原因を金額の大きい順に列挙すると、 , があげられる。

語 群

ア	損失の発生	イ	借入金の増加	ウ	買掛金の増加	エ	設備の購入
オ	在庫の増加	カ	設備の処分	キ	在庫の減少	ク	売掛金の増加
ケ	売掛金の減少	コ	利益の発生	サ	借入金の返済	シ	買掛金の減少

<資料1>

<A社>

7月の実績貸借対照表

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
現金・預金	3,926,200	22,263,000	21,272,320	4,916,880
売掛金	39,160,000	22,427,000	21,863,000	39,724,000
商品	1,626,200	1,412,600	1,626,200	1,412,600
備品	500,000	200,000		700,000
減価償却累計額	-45,000		15,000	-60,000
資産合計	45,167,400	46,302,600	44,776,520	46,693,480
買掛金	29,920,000	14,982,000	15,312,000	30,250,000
短期借入金	9,200,000		400,000	9,600,000
資本金	5,000,000			5,000,000
利益剰余金	1,047,400		796,080	1,843,480
負債・純資産合計	45,167,400	14,982,000	16,508,080	46,693,480

<A社>

7月の実績損益計算書

(単位：円)

勘定科目	前月繰越	当月借方	当月貸方	当月残高
売上高	56,432,600		22,427,000	78,859,600
売上原価				
期首商品棚卸高				
当期商品仕入高	40,326,800	15,312,000		55,638,800
合計	40,326,800	15,312,000		55,638,800
期末商品棚卸高	1,626,200	1,626,200	1,412,600	1,412,600
売上原価	38,700,600	16,938,200	1,412,600	54,226,200
売上総利益	17,732,000		6,901,400	24,633,400
販売費一般管理費				
人件費	7,826,000	2,981,600		10,807,600
減価償却費	45,000	15,000		60,000
営業経費	8,786,000	3,098,600		11,884,600
販売費一般管理費計	16,657,000	6,095,200		22,752,200
営業利益	1,075,000		806,200	1,881,200
営業外費用				
支払利息	27,600	10,120		37,720
経常利益	1,047,400		796,080	1,843,480
当期純利益	1,047,400		796,080	1,843,480

(注)・売上と仕入はすべて掛取引で、値引・返品および現金販売・現金仕入はない。

- ・売掛金の回収・買掛金の支払は、すべて預金口座への振込でおこなっている。
- ・人件費・営業経費・利息の支払は、すべて現金または預金でおこなっている。
- ・備品は、現金で購入している。

<資料 2 >

< A社 > 7月の実績資金繰り表

(単位：円)

資金繰り項目		7月
経 常 収 支	現金売上	
	売掛金回収	
	営業外収入	
	経常収入合計	
	現金仕入	
	買掛金支払	
	人件費支払	
	営業経費支払	
	営業外費用	
	経常支出合計	
	経常収支過不足	
設 備 等 収 支	設備等売却収入	
	設備等購入支出	
	設備等収支過不足	
財 務 収 支	借入金借入	
	借入金返済	
	財務収支過不足	
収支過不足合計		
月初現預金残高		
月末現預金残高		

<資料 3 >

< A社 > 7月の資金増減原因表

(単位：円)

	資金増加	資金減少
損益の状況		
非資金費用		
売掛金の状況		
買掛金の状況		
在庫の状況		
設備等の状況		
借入金の状況		
合計		
資金の増減結果		

第49回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

(令和6年12月14日施行)

- この解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、
ていねいに取りはずしてください。
- 解答は、すべて解答用紙の指定の位置に記入してくだ
さい。



主 催 公益社団法人 全国経理教育協会
後 援 文 部 科 学 省

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第49回コンピュータ会計能力検定試験 解答用紙

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

第4問 (20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

会計情報の活用

--

会計処理

第2問 (50点)

東京電子販売株式会社

貸借対照表 (2024年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	
(2)	売掛金 (おおた工業株分)	
(3)	前 払 費 用	
(4)	買掛金 (コウトウ電子株分)	
(5)	未 払 消 費 税 等	

東京電子販売株式会社

損益計算書 (2023年4月1日
~2024年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 原 価	
(2)	通 信 費	
(3)	水 道 光 熱 費	
(4)	雑 収 入	
(5)	当 期 純 利 益	

会計処理

--

解答用紙は、試験担当者の指示にしたがって、ていねいに取りはずしてください。

第49回コンピュータ会計能力検定試験 標準解答

2 級

試験会場	
氏名	受験番号

得点

コンピュータ会計の知識

第1問 (@ 2点 × 5 = 10点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1,000,000	900,000	1,000,000	当期製品 製造原価	労務費

コンピュータ 会計の知識

第2問【会計処理】は、右ページの解答欄に記入すること。

会計情報の活用

第3問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
イ	170.9	8.9	47.4	68.0
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
114,989,351	12	イ	4,600,000	3,500,000

(5) で「68」との記載は不正解とする。

第4問 (@ 2点 × 10 = 20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
21,863,000	2,981,600	790,680	ア	990,680
(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
コ	イ	ウ	ク	エ

会計情報の活用

会 計 処 理

第2問 (@ 5点 × 10 = 50点)

東京電子販売株式会社

貸借対照表 (2024年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	現 金	441,515
(2)	売掛金 (おた工業株分)	20,152,000
(3)	前 払 費 用	374,000
(4)	買掛金 (コウトウ電子株分)	9,724,000
(5)	未 払 消 費 税 等	3,648,400

東京電子販売株式会社

損益計算書 (2023年4月1日 ~ 2024年3月31日) の科目と金額

(単位: 円)

	科 目	金 額
(1)	売 上 原 価	172,640,100
(2)	通 信 費	1,236,800
(3)	水 道 光 熱 費	1,078,900
(4)	雑 収 入	120
(5)	当 期 純 利 益	1,712,262

会計処理